

入館者30万人達成 あいさつ

令和4年10月1日に開館しました「福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」、おかげさまでこの度、入館者30万人を達成することができました。

これまでご来館いただいた全ての皆様に、心から感謝と御礼を申し上げます。

この博物館は、戦国時代の城下町跡がほぼそっくり残されている、「奇跡のタイムカプセル」ともいえる、国特別史跡「一乗谷朝倉氏遺跡」へのゲートウェイ（玄関口）として整備しました。

歴史好きの方はもちろん、子どもや若い方、ファミリー層など、幅広い方々に楽しんでいただけるよう、戦国衣装の着付け体験や焼き物パズルなど、様々な工夫を施しています。

この博物館をお楽しみいただいた後に、現地の遺跡をご覧いただければ、さらに遺跡の素晴らしさを実感していただけたと思います。

この一乗谷朝倉氏遺跡では、地元の皆様や多くの関係者の皆様のご協力をいただき、昭和42年以来、50年以上に渡って発掘調査を続けており、これまでに170万点を超える出土品が出てきております。

現在も発掘調査を行っており、今なお進化し続けている遺跡でもあります。

今後とも、発掘や調査研究を継続して実施し、ご来館いただいた皆様に、「何度でも来てみたい」と思っただけのような博物館を目指していきたいと考えております。

この度の入館者30万人をきっかけに、今後さらに50万人、100万人と、より多くの方々にお越しいただき楽しんでいただけるよう、取り組んでまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年7月27日

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

館長 清水 邦夫